

「障害者週間」東欧音楽家支援 国際親善交流特別演奏会 〈日本・ルーマニア文化交流演奏会〉
ウクライナ緊急人道支援・ポーランド避難民支援チャリティー・コンサート

東京
芸術
劇場
Tokyo
Metropolitan
Theatre

及川光悦 指揮
Mitsuyoshi Oikawa
Conductor

クリスティアン・アガピエ
Cristian AGAPIE
Pianist

Since 1988
anniversary
35th

International Music Festival

35周年記念 国際親善交流特別演奏会

2022.10.26 水 東京芸術劇場コンサートホール(池袋西口)
開演18:30(開場18:00) 全席指定 S:¥6,000 A:¥5,000 B:¥4,000
6:30 p.m. WEDNESDAY, OCTOBER 26, 2022, AT TOKYO METROPOLITAN THEATRE 東京都豊島区西池袋1丁目8-1 Tel. 03-5391-2111(代)

Program

モーツァルト作曲：ピアノ協奏曲 第24番 ハ短調 K.491

MOZART: PIANO CONCERTO No. 24 IN C MINOR, K. 491

休憩

ベートーヴェン作曲：交響曲 第6番 ヘ長調 作品68《田園》

BEETHOVEN: SYMPHONY NO. 6 IN F MAJOR, OP. 68 "PASTORAL"

ピアノ：クリスティアン・アガピエ Piano: Cristian AGAPIE

演奏：モーツァルト・ヴィルトゥオーゾ祝祭管弦楽団 Mozart Virtuoso Festival Orchestra

お問い合わせ・チケット申し込み

日本音楽文化交流協会 TEL / FAX 03-3442-2325

Photo: 猪股政明

主催：国際親善交流特別演奏会実行委員会 日本音楽文化交流協会 日本・ポーランド協会 TEL / FAX 03-3442-2325

後援：文化庁・厚生労働省・国際交流基金・日本赤十字社・ルーマニア大使館・朝日新聞社

特別協賛：meiji 株式会社 明治

協賛：三菱電機株式会社・ShinEtsu 信越化学工業株式会社・三菱ケミカル株式会社

協力：サッポロビール株式会社・メルシャン株式会社

※出演者・曲目等が変更される場合がありますのであらかじめご承知おき下さい。

※障害者、養護施設、母子家庭、大震災避難者、医療従事者の方々を御招待致します。

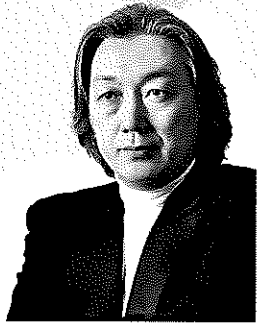
※未就学児のご入場はご遠慮下さい。

※本公演は、新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインにそって、実施を致します。※体調不良の際は、ご来場をお控え下さい。※ご来場、ご鑑賞時等ホール内では必ずマスクをご着用下さい。

35周年記念 国際親善交流特別演奏会



International Music Festival



及川光悦 指揮 CONDUCTOR: Mitsuyoshi Oikawa

1949年、北海道に生まれる。5歳よりピアノを学び、10歳の時、テレビ出演を機会に音楽家を志す。1967年、東京音楽大学器楽科、桐朋学園指揮教室入学。1975年8月、フランス・ニュース国立音楽院主催国際指揮講習会を受け好評を博す。1975年10月、研究科在学中に推薦されパリ留学。エコール・ノルマル音楽院にてビエール・デルポー氏に師事、スコラ・カントルム音楽院指揮科・ピアノ科入学。1976年、ザルツブルグ・モーツァルト音楽院主催の国際指揮講習会を受けオトマール・スイトナー氏に師事、大いに才能を認められる。1977年帰国、故郷城宏之氏に認められ札幌交響楽団において研鑽、数多くの演奏会に出演する。1978年、小澤征爾氏に師事。

同年「札幌市芸術文化振興基金第1号」を受けアメリカ留学、小澤征爾氏のもとで研鑽を積む。

1982年、「芸術家在外研修員」として文化庁によりミュンヘンへ派遣される。受入れ先であるクーベリックのバイエルン放送交響楽団、

チェレビダッケのミュンヘン・フィルハーモニー管弦楽団、サマリッシュのバイエルン国立歌劇場管弦楽団にて各氏に師事、伝統的なドイツ音楽を吸収する。又ベルリン・フィル、ミラノスカラ座、バリオペラ座、パイロイト音楽祭、ベローナ音楽祭、ザルツブルグ音楽祭のリハーサル・本番・レコーディングに立ち会い研鑽を積む。1983年8月帰国、ただちに東響でデビュー、都響、札幌、京響、新日本響、群響、神奈川フィルで共演、放送・レコーディングで活躍。1986年7月、日中文化交流の一端として中国から招待され、中国電影楽団、上海楽団と共演、交響組曲「東京」～「こもりうた・外山雄三作曲」の海外初演をはたし熱烈な歓迎を受ける。帰国後、FM東京「世界の音楽をあなたに」出演、中国音楽界を紹介する。1987年9月・10月、前年に引き続き中国より招待され、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとで中国電影楽団、上海電影楽団と共演して絶賛を博し、両楽団より「常任客演指揮者」の称号を贈られ両国の文化交流に大きな役割を果たす。帰国後、FM東京「音楽の森」出演。1988年9月、中国電影楽団、上海電影楽団日中平和友好締結10周年記念・常任客演指揮者就任記念として、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもと「文化使節」として公演し好評を博す。FM東京「モーニングジャーナル」・FMジャパン「Jウェーブキャットフィッシュ」出演。1990年6月、チェコ・スロバキア（ズリーン）マルティヌーフィルハーモニー管弦楽団にてヨーロッパ楽壇デビュー、11月、中国（北京）中国電影楽団にて故園田高弘氏と演奏会開催。12月、ソ連「チャイコフスキー交響楽団（旧モスクワ放送交響楽団）」、ウクライナ国立フィルハーモニーオーケストラ（キエフ）、ヤロスラブリ フィルハーモニーオーケストラにて演奏会開催。1992年9月、中国（北京）・中国電影楽団にて日中国交正常化20周年記念特別演奏会を開催。10月、日本政府（外務省）・国際交流基金・ポーランド政府文化芸術省の援助のもとでポーランド・カトビツェ国立交響楽団と演奏会開催。1993年3月、現在世界で屈指のヴィルトゥオーゾグループである「ロシア・ナショナル管弦楽団」にてロシアピアノ界の巨匠であるニコライ・ベトローフ氏と共演、ウリヤノフスク国立交響楽団と演奏会開催好評を博し日本・ロシアの文化交流に尽力。12月、ハンガリー文化教育省の後援のもとでフランツ・リスト音楽院大ホールにてサント・ステファン交響楽団と共演。

1994年10月、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとで前年に引き続きハンガリー・サント・ステファン交響楽団と共演。ルーマニア文化省の後援のもとでヨーロッパの中でも長い伝統を誇る名門オーケストラ「ジョルジュ・エネスク・フィルハーモニー管弦楽団」と共演し、日本・ハンガリー・ルーマニアの文化交流、両国音楽家間の親善に大きく寄与。1996年2月、ハンガリー・ドナウシンフォニックオーケストラと共演。1997年2月、日本政府（外務省）・国際交流基金の援助のもとでハンガリー・ソルノク シンフォニックオーケストラ、3月、ロシア名門オーケストラである「モスクワ・フィルハーモニー交響楽団」と共演し好評を博す。10月、名門オーケストラである「ブルガリア国立ソフィア交響楽団」と共演。帰国後テレビ朝日「徹子の部屋」に出演。1998年4月、ポーランド・アルトゥール・ルービンシュタイン・フィルハーモニックオーケストラと共演。1999年10月、日本・ブルガリア文化月間10周年記念・国交回復40周年記念公演に招聘され「文化使節」として名門オーケストラである「ブルガリア国立放送交響楽団」と共演。2000年、「文化庁舞臺芸術創作奨励賞選考委員」就任。

2001年5月、名門オーケストラである「サンクトペテルブルグ交響楽団」（旧レニングラード交響楽団）と共演。2002年6月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団、ルーマニア「コンスタンツァ交響楽団・ガラツ交響楽団」と共演し大成功を収める。2002年10月、日本・ブルガリア文化月間に招聘され、「文化使節」としてブルガリア国立ソフィア交響楽団にてヴァイオリニストの天満敦子女史と共演。2004年4月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演、大成功を収め「常任客演指揮者」に就任。2005年5月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演。2006年6月、ブルガリア国立ソフィア交響楽団と共演。2009年11月、ブルガリア文化の発展と普及への功績に対して、ブルガリア共和国文化省より「名誉表彰状」と「名誉章」を授与される。2010年10月、ポーランド・トルン交響楽団と共演、ベルギー（ブリュッセル）にてトルン交響楽団と共演。2011年10月、ポーランド（ビゴドシチ）ボメラニアン・パデレフスキー国立交響楽団と共演。ベルギー（ブリュッセル）にてポーランド EU 議長国就任記念コンサートに招聘されポーランド・ボメラニアン・パデレフスキー国立交響楽団と共演。2013年1月～2月、豊島区制施行80周年記念に対して「感謝状」と「豊島区文化功労表彰」を授与される。10月～11月、社会福祉法人「東京都社会福祉協議会」社会福祉法人「横浜市社会福祉協議会」より永きに亘る福祉活動により「感謝状」を授与。東欧音楽家支援20周年記念として札幌市から「感謝状」を授与する。2014年7月、ルーマニア政府・トラヤン・バセスク大統領より「文化功績勲章」を受章。

2019年3月、ブルガリアー日本両国関係発展に対して、ブルガリア共和国政府・外務省より名誉表彰勲章「Golden Laurel Branch（金の月桂樹）」最高位を受賞。

2019年10月、ポーランド共和国文化国家遺産大臣より文化功労勲章「グロリア・アルティス」を受章。

クリスティアン・アガピエ Cristian AGAPIE / ピアニスト Pianist

ルーマニア出身。

2004年 ジョージ ユネスク芸術大学（ルーマニア）ピアノ学科を首席で卒業。2006年同大学院修士科卒業。

18歳よりヨーロッパ各地のオペラハウス等で演奏を多数行い、いずれも高い評価を受ける。6年間、ベネチアのフェニーチェ 歌劇場でコルベティオールを務めながら、多くの声楽家と共演。2005年にサンマルコオーケストラとして来日。その後、日本においてメディア出演・演奏活動にて活躍。

2017年 ベー・チェチョルのピアノ伴奏者として活動を開始する。

2018年 東京・名古屋にてソロサイタルが開催され、その突出した音楽性が聴衆を魅了する。

2019年 東京でのソロサイタルの傍ら、駐日ルーマニア大使館主催における演奏会が催され、ルーマニアと日本の文化の懸け橋という役割を担う。

2020年 2月 東京オペラシティにて「ピアノで綴るショパンの物語～オールショパンプログラム」が開催され、好評を博す。

